

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ひょうご 木と優しさのエコハウス

グループの名称

ひょうご 木造住宅推進会

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名	大段 二郎	代表者印
代表者所属先	株式会社大段木材	
代表者所在地	兵庫県神戸市長田区苅藻島町3丁目67-5	
代表者電話番号	078-686-7606	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社大段木材	
事務局担当者名	大段 拳人	印
事務局郵便番号	653-0033	
事務局所在地	兵庫県神戸市長田区苅藻島町3丁目67-5	
事務局電話番号	078-686-7606	
事務局FAX	078-686-0553	
事務局担当者E-mail	ohdanmokuzai@apricot.ocn.ne.jp	

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/			
			m ²				
		申請が未確定	1 棟				
			150 m ²				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	原則先着順とするが、補助対象住宅の建設が未経験の施工業者を優先することとする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成28年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当	
				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅				
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均						○
28	VI - 6	48277	有限会社トロボ建築工匠	2	1	1	1	0	0	0	0	141	47	○					
28	VI - 7		有限会社アクトコーポレーション	1	1	0	0	0	0	0	0	m ²	m ²						
28	VI - 8		株式会社アクティブ装工	0	0	0	0	0	0	0	0	m ²	m ²						
28	VI - 10		神陽建設株式会社	3	8	0	0	0	0	0	0	m ²	m ²						
28	VI - 11		なかむら工務店	0	0	0	0	0	0	0	0	m ²	m ²						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						
	VI -			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	m ²	m ²						

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ひょうご 木と優しさのエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ひょうご 木造住宅推進会	(結成年) 2017 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において必ず実施する取組みの場合は◎印、グループが目指す目標の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において 取組に違いがある場合は その旨を具体的に記入してください		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地震に強い長期優良住宅を基本とし、耐震等級3を推奨する。またエコへの取り組みとして高気密、高断熱の住宅を建設する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	木と優しさのエコハウスでは、木造住宅の主要構造材に地域材を活用する。(地元の兵庫県産材、国産材などを推奨する) すみ柱は4寸を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	基本は設計事務所に委ねるが耐震や省エネを検討の上、老若男女を問わず住みやすい住宅にする。また木のぬくもりを感じられるデザインを奨める。	◎
④①～③の背景	阪神、淡路の周辺地域では、南海トラフにより地震への対策と備えが必要とされている為地震に強い住宅を提案する。また住みやすさと優しさを感じる住宅として、木の優しさのある木造住宅仕様や省エネ性が高くCO2削減と地球環境に優しい仕様を提案する。さらにエコへの取り組みとして、日射、通風、換気し自然素材を活用したエコライフを提案する。地産地消とともに地元工務店への2020年省エネ義務化と高度省エネ化に向けて推進する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	家庭エネルギー削減に向けエコハウスでは、省エネ性能の見える化による生活上のエネルギー浪費に気付くことで節電を図る。(BELSの取得、HEMS設置など)	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が施工の希望を考慮し、グループ構成員の流通業者、プレカット事業者が樹種、等級等の規程を設定し、在庫の安定的確保を行う。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員のプレカット、流通事業者が木材の使用について均一化に努める。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: エコハウスではグループとして省エネ基準対応の断熱仕様を設定する。	◎
②-1 建材・資材調達共通化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 省エネ仕様の建材、設備等の仕入れは建材流通業者は情報交換等で調達の利便性を図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 断熱や主要構造材のグループ仕様を設定することで、建材資材を選択し供給ルートを絞りこみ運送することで調達の事務の効率化に努める。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 流通業者を中心に木材と建材の事業者が相互連携し情報交流に努める。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が生産工程を把握し、資材の供給業者との連携強化により合理化に努める。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ施工講習会のテキスト、フラットの設計施工指針等を活用し施工技術を向上させる。設計や申請関係は設計事務所と連携して行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築上の検査を受けると共に工務店による確認と施主への報告を適宜行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 坪単価などの一括の概算見積ではなく、各項目ごとに明瞭な見積を作成し提示する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループのコンセプトや共通ルールを丁寧に説明し、エコハウスへの取り組みを進める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施主の希望により提携機関の住宅ローンや資金相談サービスを提供する。案内チラシ、その他資料を作成しグループの知名度の向上に努める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ひょうご 木と優しさのエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひょうご 木造住宅推進会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報はデータによるクラウドにて共通のシステムで蓄積、保存する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国土交通省登録の第三者機関を活用するものとし、提携サービス機関を事務局が紹介する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報システムの登録の有無を事務局にて確認する。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の点検シートにて定期点検を行い、施主に報告する。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検等による補修必要箇所を施主に報告し、適切な提案を行う。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検、補修、点検時期の案内などの住宅情報を住宅履歴管理システムにて共有する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まい管理についてのグループでの統一的な運用をする為工務店向けに勉強会、資料配布等にて	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を中心に情報入手、定期的にショールームに行きメーカーとの連携に努めグループへの情報	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり工務店との定期集会を開催する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理の概要書を使用し、点検項目を確認する。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 倒産や廃業時にはグループ内にて協議の上、工務店の紹介を行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の勉強会で瑕疵保険会社の作成する事例集や工務店の体験を情報共有する。	○
その他	住宅の設備機器の保証サービス(5年、10年)への加入を推奨する。	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ基準やBELS制度、長期優良住宅についての勉強会を外部講師を招き定期で開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築工事の施工、検査後に各種証明書等を説明の上、施主に手渡す。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が完成後に各種証明書、検査証等について確認する。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補助対象住宅の建設を一工務店につき年一棟の目標とし省エネ住宅の普及を目指す。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーの新製品発表会等に参加し、常に最新の省エネ基準に適応した建材、設備の情報をグル	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が窓口となり提携先サポートセンター連携を取りつつ、業種ごとに省エネ性向上に向けて取	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 1人 今年度の参加目標人数 5人 1工務店1人以上が受講する。	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0人 今年度の参加目標人数 5人	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が省エネ技術講習会を未経験工務店に案内する。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロエネ住宅に取り組む。グループの仕様と省エネ関連の建材、設備などの提案を積極的に行う。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	長期優良住宅、低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、BELS等の申請はグループ提携のサポートシステムを活用し円滑に手続きを行う。	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) ひょうご 木と優しさのエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府												
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) ひょうご 木造住宅推進会	(結成年) 2017 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須) -----														
4. 地域型住宅グリーン化事業の採択内容に対する取り組み ※記入した内容において必ず実施する取組みの場合は◎印、グループが目指す目標の場合は◇印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において 取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する ① 共通ルール (必須) <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県産材の使用・国内外合法木材を使用・主要構造材に50%以上使用する。 ② 地域材利用の1棟当たりの割合 (必須) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上 ③ 標準的な地域材の使用部位 (必須) <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table> ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 <div style="text-align: center;"> <p>ひょうご 木造住宅推進会の体制 兵庫県産材、国内外合法木材の証明の流れ</p> </div>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原木供給、流通と連携をとり樹種、等級、寸法ごとに在庫一覧表の作成、グループでの共有を測り全体での在庫状況の理解を努める。 ①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 市場での地域材の価格情報を案内する。 ② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ全体で協議。利用する樹種等を把握し、安定した供給を目指す。	◎												
c	①-1 畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 50枚 和室設置の提案、和室材での県産材の使用も検討する。 ①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ①-3 襖の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 30枚 施主、施工側に対しての提案、推奨する。 ①-4 障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 30枚 施主、施工側に対しての提案、推奨する。 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	流通ルートを確認し、活用できる所があれば積極的に活用する。	○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	流通ルートを確認し、活用できる所があれば積極的に活用する。	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ひょうご 木と優しさのエコハウス	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県 大阪府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひょうご 木造住宅推進会	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

(高度省エネ型について)

高度省エネ型の住宅では、長期優良住宅の認定基準である耐震性等を除くものとする。

【認定低炭素住宅】

- 1) 「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づき、所管行政庁による認定低炭素住宅の認定を受けるものとする。
- 2) 定量的項目では、一次エネルギー消費量の削減は10%以上とする。
- 3) 選択項目では3項目以上の取り組みを推奨しており、CO2の削減と都市の低炭素化に向けて取り組むものとする。

【性能向上計画認定住宅】

- 1) 「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」に基づき、所管行政庁による性能向上計画認定を受けるものとする。
- 2) エコ住宅であることを明示する為、第三者認定によるBELS認定の取得を推奨する。

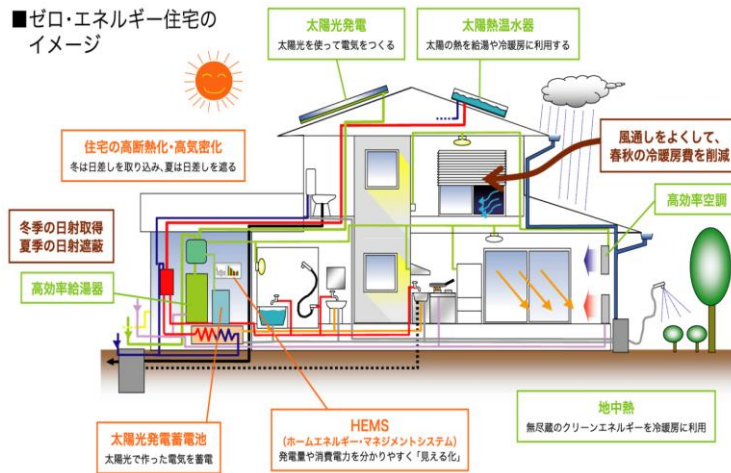
【ゼロ・エネルギー住宅】

- 1) 「平成28年改正の建築物省エネルギー基準における住宅の一次エネルギー消費量に関する基準」の算定方法に基づいて、ゼロ・エネルギー住宅としての性能を評価・表示する住宅版BELSにおける評価を行うものとする。
- 2) ゼロエネ住宅では外皮性を強化仕様とし、外皮平均熱逡流率 0.6 wh以下とする。
- 3) 一次エネルギー消費量の太陽光を除く削減率を20%以上とし、太陽光を含めてゼロエネ住宅となるものとする。

【優良建築物への取り組み】

- 1) 優良建築物については、非住宅である低炭素建築物の認定基準を遵守した仕様とする。
従来からの制度であるBELSによる取得により、建築物の省エネ性能の把握が容易になり、一般消費者等へのアピールにつながるものである為第三者による適合書の取得を推奨する。それにより、省エネ性能と見える化への対応に努めるものとする。
- 2) 優良建築物の取得につき、主要構造材への地域材の活用と合わせて、内装材は、住宅建築に関する制度は対象外とする。

■ゼロ・エネルギー住宅のイメージ



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。